一般社団法人
日本家政学会
関西支部

2024年度
関西支部
公開講演会

日時：令和6年5月18日（土）
14:00～15:30

場所：同志社女子大学
今出川キャンパス
楽真館 R003教室

視覚障害者やその支援者との交流から考えるユニバーサルデザイン

～福祉工学分野から実践的研究の社会実装に向けて～

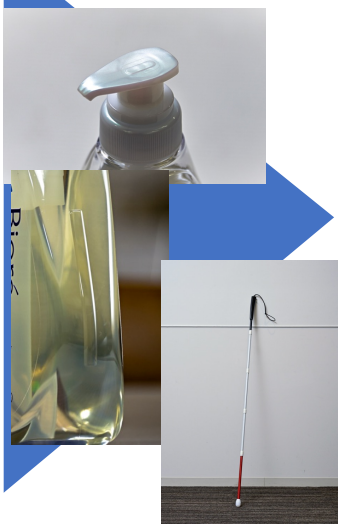
講師：土井　幸輝　氏

同志社女子大学生活科学部教授
日本家政学会会員

対象：ユニバーサルデザインに関心のある方
どなたでもご参加いただけます

定員：100名

参加費無料
事前申込不要



講師プロフィール

土井　幸輝　Kouki Doi　博士（人間科学）

（所属学会）日本機械学会/日本生活支援工学会/日本感性工学会
ヒューマンインタフェース学会/日本家政学会 等
（研究キーワード）共用品・共用サービス/ユニバーサルデザイン
バリアフリー/感覚代行

（略歴）

2007年　3月　　早稲田大学大学院人間科学研究科博士後期課程修了
2004年10月～2007年　3月　早稲田大学理工学術院客員研究助手（専任）
2007年　4月～2009年　6月　首都大学東京システムデザイン学部助教
2009年　7月～2012年12月　国立特別支援教育総合研究所研究員
2013年　1月～2022年　3月　　同 主任研究員
2022年　4月～2023年　3月　同志社女子大学生活科学部准教授
2023年　4月～　現在　　同 生活科学部教授

講演内容の概要

高齢者や障がい者等の日常生活を支える用具や機器の開発や改良に携わる「福祉工学」という研究分野があります。本講演では、視覚障がい者やその支援者との交流を大切にした福祉工学分野における実践的研究について取り上げます。また、研究と社会実装をどう結び付けていくのかについて研究事例を通して皆さんと一緒に考えていければと思います。具体的には、白杖の耐久性や重さの改良のために取り組んだ軽量・高強度な白杖の開発、視覚障がい者用筆記具の実用化への期待に応えるために取り組んだ蜜蝋吐出型筆記具の開発、視覚障害者団体からの要望を踏まえて取り組んだボディソープ用触覚識別表示記号等の研究活動を通じた社会実装の在り方について取り上げます。

アクセス

（京阪）京阪本線「出町柳駅」3番出口を出て鴨川を渡り西へ徒歩 約10分
（地下鉄）京都市営地下鉄烏丸線「今出川駅」3番出口を出て
右手に京都御所を見ながら東へ徒歩 約5分
（市バス）バス停「同志社前」から徒歩 約1分
バス停「河原町今出川」から徒歩 約5分
（タクシー）JR・近鉄・地下鉄「京都駅」から約20分

問い合せ先：同志社女子大学 生活科学部
食物栄養科学科 食品微生物学研究室
川崎　祐子
Tel & Fax （075）251-4231

Always rising to a new challenge
いつの時代も、新しきを生きる。
DWCLA 同志社女子大学
Doshisha Women's College of Liberal Arts, Founded in 1876